

令和5年度保健師等ブロック別研修会シンポジウム
2023.9.22

ともに育ち合う環境づくり …山梨県の保健師現任教育…

山梨県福祉保健部医務課
看護担当 小坪 真由美

お伝えしたい内容

- 1 山梨県の概況
- 2 現任教育の経緯
- 3 研修体系
- 4 キャリアラダーの活用
- 5 取り組みの効果と今後の展望

山梨県の概況



- * 人口 : 791,124人 …R3人口動態統計
- * 出生率 : 6.3 (人口千対) …R3人口動態統計
- * 高齢化率 : 31.2% …R4高齢者福祉基礎調査

- * 市町村数 : 13市(内中核市1) 8町 6村
- * 二次医療圏 : 4圏域(中北・峡東・峡南・富士東部)
- * 保健所数 : 県4保健所と甲府市保健所
- * 自治体保健師数 : 県69人 市町村336人(中核市含む)
- * 統括保健師の配置率 : 88.9% …R4保健師活動領域調査

中北

人口: 448,674人
市町村: 1中核市・5市・1町
自治体保健師数:
県46人
(保健所11人、本庁27人、その他8人)
市町村 154人

峡東

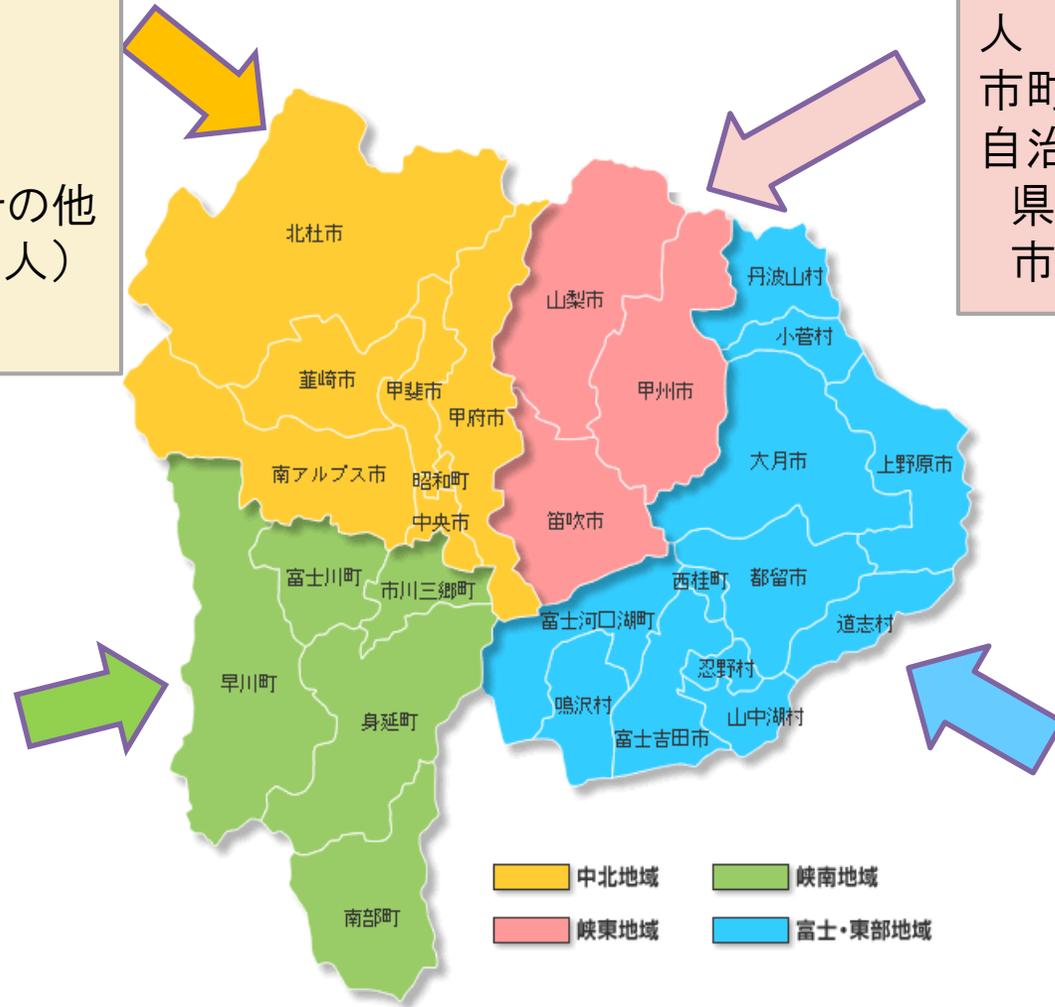
人口: 127,192人
市町村: 3市
自治体保健師数:
県8人(保健所)
市町村60人

峡南

人口: 46,213人
市町村: 5町
自治体保健師数:
県6人(保健所)
市町村42人

富士・東部

人口: 169,045人
市町村: 4市・2町・6村
自治体保健師数:
県9人(保健所8人、その他1人)
市町村80人



* 人口: 人口動態統計(R3)

* 保健師数: 保健師活動領域調査(R4)

現任教育の経緯

S61年度… 「保健所・市町村保健婦活動に関する指針」の策定

H19年度… 「山梨県保健師現任教育マニュアル」の策定

H24年度… 人材育成中核保健所の設置（中北保健所）
→管内市町村と連携した研修体系の構築

H28年度… 「山梨県保健師現任教育マニュアル」の改訂

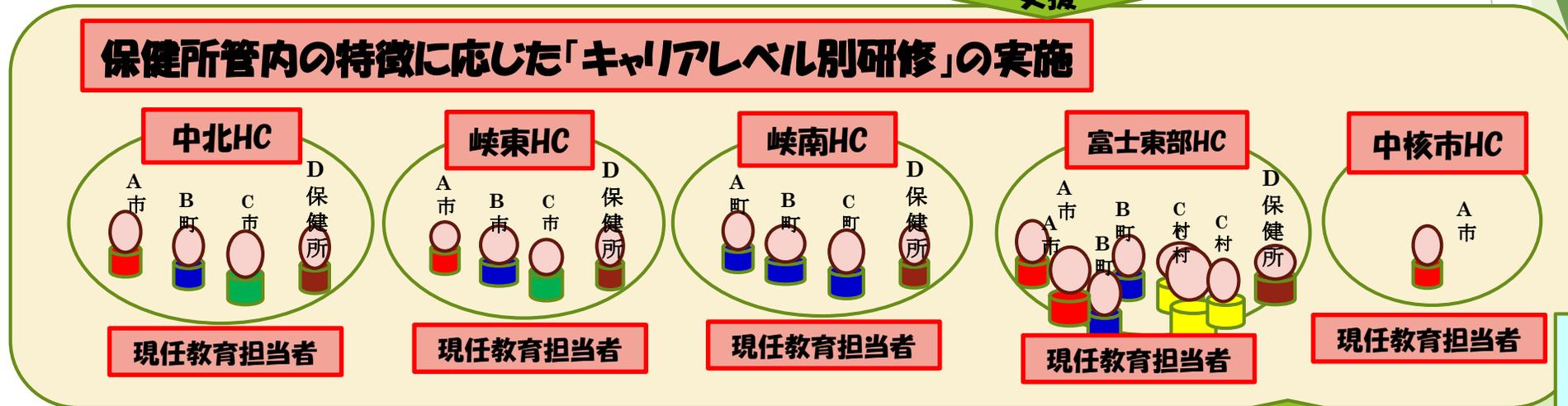
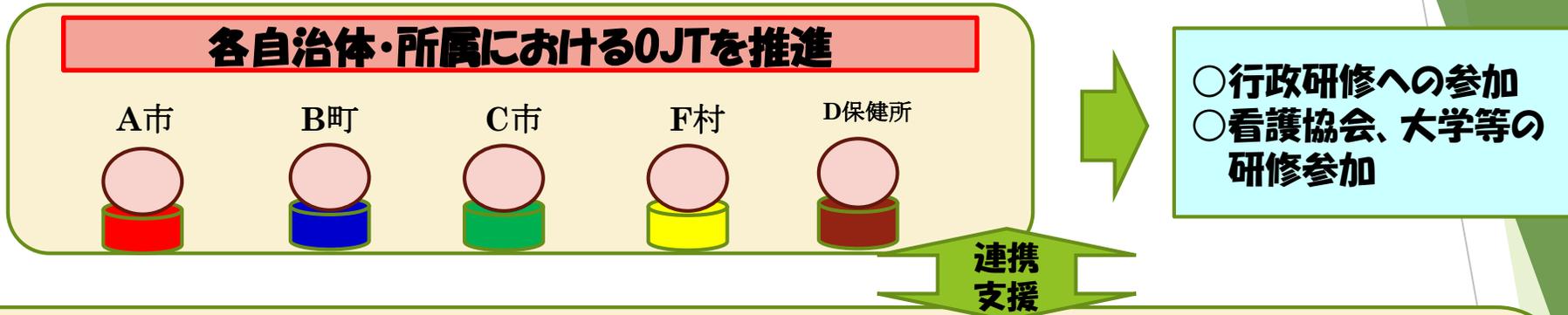
H29年度～ 自治体における具体的な仕組みづくりの推進
→目標となる「保健師像」の明確化

個別性に着目した人材育成の推進

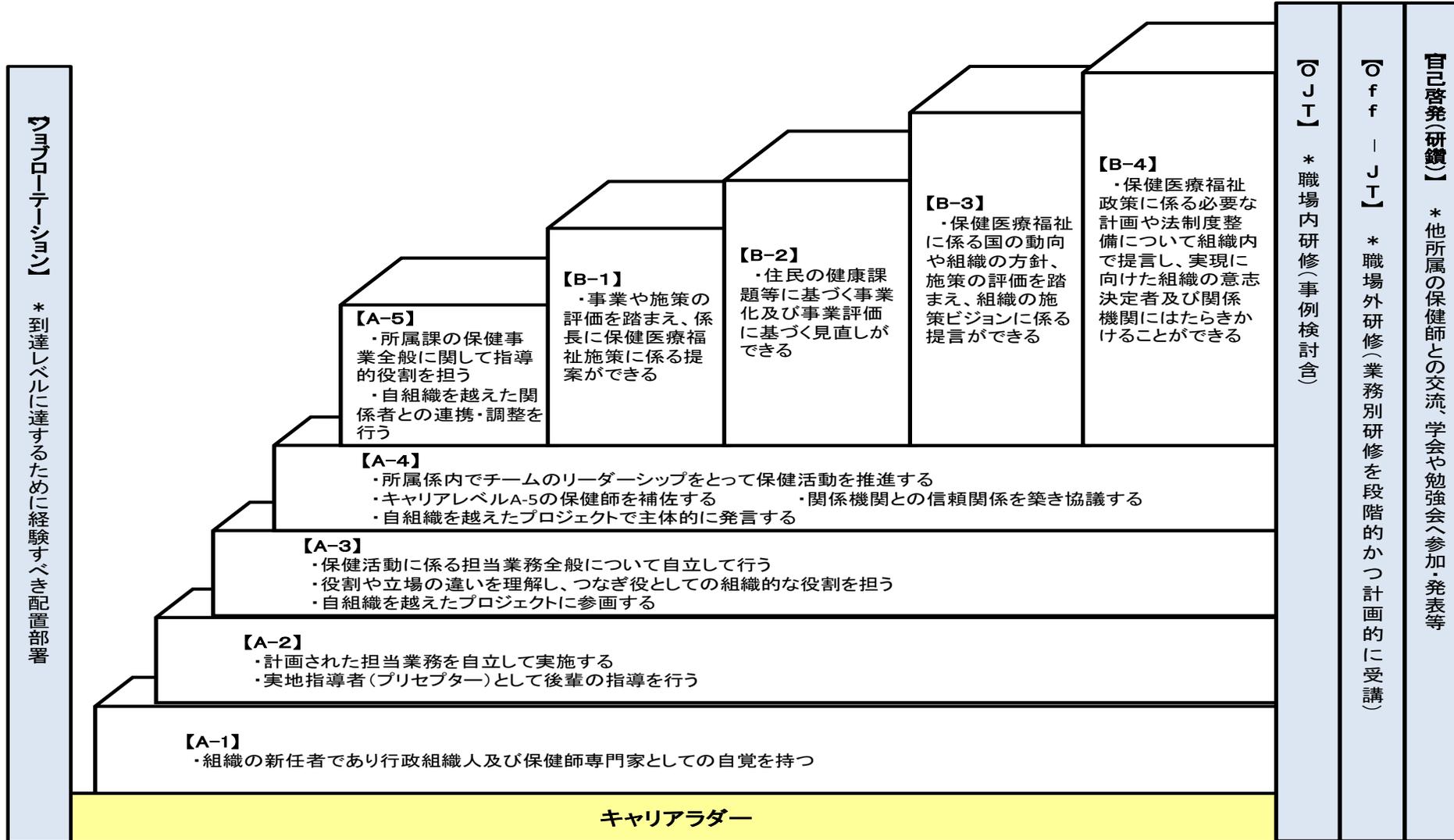
…キャリアラダーの活用

→現任教育担当者・統括的役割を担う保健師の配置

保健師現任教育研修体系



キャリアラダーの関係図



キャリアラダーの活用

①自分の気づき・振り返り

「キャリアラダーチェック表」で、キャリアレベルの確認
「人材育成シート」で、目指したい保健師像と目標の設定

②他者との対話による気づき・振り返り

統括(的役割を担う)保健師との面接で、①を相互に具体的に確認

職場内研修の
一環として実施

③自所属の人材育成計画の策定

自所属全保健師のキャリアレベルと目標設定をまとめ、各所属内の
人材育成計画を検討

県と市町村分を
とりまとめ

④保健所管内のキャリア別研修・県全体の研修に反映

各所属の人材育成の課題を把握し、研修企画に反映

目指したい保健師像…

保健師マインドとは

保健師マインドとは保健師としてどうあるべきかという精神・意識です。

ここでは、平成28年度保健師現任教育マニュアル検討委員会作業部会及び各保健所管内の検討過程で出された意見を参考に掲載しています。

<目指すもの>

- ・予防の視点、健康を支える、守る、幸せになってもらいたい
- ・その人らしさを大切にする支援
- ・相手の強さを引き出す

<あきらめないところ…粘り強さ>

- ・一緒にやりとげようという気持ち
- ・あきらめない心
- ・達成感が次の仕事へ
- ・達成感
- ・自己の健康を大切に
- ・健康管理

<地域への愛>

- ・地域を大事にする
- ・地域への愛着

<住民の声を聴く・生活を知る場所>

～住民の声・生活を知る気持ち、関心をよせる～

- ・人が好き
- ・住民とともに
- ・住民とのパートナーシップ
- ・住民の声を聞く、住民に接する
- ・住民の生活を理解し生活を知る、聴く
- ・地域(地区)に出向く
- ・個を大切に
- ・個から地域へ

取り組みの効果…

★「山梨県現任教員教育マニュアル」の存在

→県と市町村が一緒に作成し、理念や方向性を共にする
もとがあることで…

- ・「目指す保健師像」の共有、育成の目標の共有
- ・各保健所の実践を軸に市町村と連携し、育ちあう仕組みづくり
- ・「仕組み」にすることで、市町村との連携を継続・強化

取り組みの効果…

- ★キャリアラダーの活用と統括保健師との面談
 - 個別性に着目した人材育成の推進
 - ・自己の成長を可視化、統括保健師からの客観的な評価による新たな気づき
 - ・統括保健師が個々の保健師の状況を把握
 - ・対話による相互作用
 - 個を積み上げて…
 - ・県と市町村の状況をまとめ、次期研修計画に反映させることで、各所属の研修計画をブラッシュアップ

今後の展望



- ★コロナ禍からの立て直し
コロナ禍での保健師活動を整理し、補完する方法を考える
- ★「保健師マインド」の伝承
新任期に、個人に求められる力を認識して、自ら育つ力（自己啓発）を養う
- ★「目指す姿」を見失わないように
中堅期や、統括保健師を補佐する保健師の力量形成の強化
- ★市町村と共に育ちあうために
今ある「仕組み」の継続と共に、日々の保健師活動を通じて風通しのよい関係づくり

世の中がどのように変化しようとも「看護」は、その人に向かい合い「信・愛・敬」という人間へのまなざし、つまり心の姿勢を核として、科学的根拠に基づいた確かな知識と卓越した技術を駆使して、問題解決へ向けてともに活動していくことである。

望月弘子名誉会長のことば

ご清聴ありがとうございました